

札幌商工会議所青年部 令和5年度 基本方針

自令和5年4月 1日

至令和6年3月31日

1. スローガン

「飛 躍」

～keep trying 挑み続ける～

2. 基本方針

現在、人口減少や気候変動、急速なデジタル化に加え、この長く厳しい新型コロナウイルスの影響もあり、私たち中小企業を取り巻く環境は一変いたしました。この激動の新時代に、若き青年経済人である札幌YEGメンバーは、世の中の変化を正しく把握して、未来を予測し、順応していくことで企業の存続・繁栄に活かしていくことが重要です。

また、節目の年となる2030年に向け、日本はもとより世界からも愛される「光輝く元気な札幌」を目指すことで、停滞した北海道経済及び地域の発展を札幌が牽引します。そのために、我々札幌YEGメンバーが強く結束し、若者らしい発想とスピード感のある活動をしていきます。

①対外事業の構築（事業委員会）

札幌での「光」を軸に事業構築してきた私たちの歴史は、少しずつ表現を変えて進化し、市民に希望と大きなインパクトとを与えてきました。新時代では、協業し事業の幅をさらに広げることで、札幌YEGの存在と活動とを広くそして強く発信をしていきます。また、2030年冬季オリンピック・パラリンピック大会の札幌招致は、札幌のみならず北海道、日本全体に大きな経済効果をもたらす、世界から注目を受け、「光輝く元気な札幌」の実現に不可欠です。開催の実現に向け、積極的に招致や開催準備活動に参画します。

②新時代でのビジネス研究（研修委員会）

私たち札幌Y E Gメンバーは、各業種のプロフェッショナルが集う異業種集団です。この特性を活かし、異業種の知識やノウハウを共有することで、企業の存続・繁栄に繋げていくことこそ本会に所属する最大メリットです。

また、札幌商工会議所が目指す新たなビジネス価値の創造を十分に理解し、私たち若き青年経済人が担うべきデジタル化や新たな情報発信方法、スタートアップなどといったこれからの企業経営に不可欠な学びを提供し、札幌Y E Gに所属する価値を創出します。

③会員の参画促進と交流（交流委員会）

この新型コロナウイルスの大きな影響のひとつは、人と人との絆が希薄化されたことです。まだ歴史の浅い札幌Y E Gメンバーにとっては厳しい試練となり、画面越しや文字だけでは伝わり切らない部分に人間関係を構築する重要なものがあつたことを再認識しました。以前のように、札幌Y E Gメンバーが一同に集まり、笑顔に包まれた楽しい交流の機会を創出するとともに、より強い結束を図るため、Y E G活動へ積極的な参画を促進させ、メンバーひとりひとりをより理解する場を提供します。

④各諸団体との連携と会員拡大（渉外委員会）

全道全国の同志であるY E Gメンバーとの関係構築を深め、各諸大会へのより多くの参画を促し、参画した札幌Y E Gメンバーの実りある時間を創出します。加えて、近い志を持った札幌市内の青年経済団体とも連携を図り、災害などの有事に備えるべく議論する場を創出することで、強固な地域づくりに寄与します。また、札幌Y E Gの活動をより力強いものにするために、積極的に参画する新しい仲間を計画的に純増させていく初年度として、会員拡大に努めます。

⑤組織基盤強化と情報発信（総務委員会）

札幌Y E G全体はもとより、各委員会がよりスムーズに活動できる環境をつくり、会員把握や情報発信、危機管理など組織基盤を強固なものにします。特に、札幌Y E G公式ホームページをさらに魅力的なものにすべく、よりタイムリーに正しい情報を配信することで、札幌Y E Gの存在感を高めていきます。また、今後のY E Gの展望や物価の変動などを鑑み、確かな会計管理を運営します。